

- 問1 鎌倉時代に成立した『平家物語』が、当時の人々、特に文字を十分に読むことができなかった庶民層にまで広く普及した背景には、どのような仕組みがありましたか。 (2021年 京都公立入試 類似)
1. 琵琶法師と呼ばれる僧侶たちが、琵琶の音色に合わせて物語を口承で伝えたため。
 2. 鎌倉幕府が、武士の心得を教育するための教科書として全国の村々に配布したため。
 3. 活版印刷の技術が導入され、安価な小型本が市場で大量に流通するようになったため。
 4. 寺子屋が普及し、子供たちが読み書きの練習用教材として書き写したため。
- 問2 12世紀後半の平氏による政権期から鎌倉時代にかけて、日本国内では貨幣経済が急速に浸透し始めました。当時、日本国内で大量に流通していた銅銭の主な由来について述べたものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2023年 広島公立入試 類似)
1. 日本の商人が中国の宋と貿易を行ったことにより、国内に大量に持ち込まれた。
 2. 日本国内の鉱山から採掘された銀を、室町幕府が鑄造して全国に配布した。
 3. 江戸幕府が国内の経済を安定させるために、独自に鑄造した寛永通宝が広まった。
 4. 鉄砲の伝来とともに、ヨーロッパの商人からキリスト教の布教とともに譲渡された。
- 問3 11世紀末から約200年にわたって行われた、キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還することを目的とした軍隊の派遣について、この遠征のきっかけとなる呼びかけを行った人物として正しいものを選びなさい。 (2018年 沖縄公立入試 類似)
1. ローマ教皇
 2. 神聖ローマ皇帝
 3. ビザンツ皇帝
 4. フランス王
- 問4 室町幕府の第3代将軍である足利義満が建立した鹿苑寺金閣（金閣）は、各層で異なる建築様式が組み合わされています。この建築において、上層部に禅宗様の様式が取り入れられた背景として、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 座禅によって自力で悟りを目指す教義が武士に好まれ、禅宗が政治権力と深く結びついていたため。
 2. 兵農分離を進める幕府が、有力な農民を統制するための精神的な支柱として禅宗を利用したため。
 3. 大規模な検地を実施するにあたり、寺院に土地の測量を依頼するなど実務的な協力関係があったため。
 4. 念仏を唱えれば誰でも救われるという教えが急速に広まり、将軍もその流行を取り入れたため。
- 問5 1221年に起こった承久の乱ののち、鎌倉幕府が朝廷の監視や西日本の武士を統制するために京都に設置した、地方機関の名前とその役割として適切なものはどれですか。 (2024年 徳島公立入試 類似)
1. 六波羅探題：朝廷を監視し、西国の裁判や警備を行う
 2. 京都守護：将軍の京都滞在を支援し、天皇の護衛を行う
 3. 政所：京都の財政を管理し、貴族の生活を統制する
 4. 問注所：京都で発生した武士と貴族の間の裁判を専門に扱う
- 問6 鎌倉時代において、将軍と御家人の間には土地を仲立ちとした双方向の主従関係が築かれていました。この関係において、将軍が御家人に対して行う「御恩」の具体的な内容として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 御家人が以前から持っていた領地の支配を認めたり、手柄を立てた者に新しい領地を与えたりすること
 2. 京都や鎌倉の警護に従事したり、合戦が起きた際に軍勢に加わって戦ったりすること
 3. 一族の中で最も力のある者を地頭に任命し、全国の荘園から兵糧米を徴収する権利を与えること
 4. 朝廷との交渉を有利に進めるため、有力な御家人に高い官位を授けるよう天皇に働きかけること
- 問7 平安時代末期から鎌倉時代にかけての日本の経済状況において、土地売買や年貢の支払いにおいて貨幣が利用される割合が増した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 愛媛公立入試 類似)
1. 中国の宋から大量の銅銭が輸入され、国内の通貨として広く流通したため
 2. 日本国内で大規模な銅山が次々と発見され、政府が独自の貨幣を大量に鑄造したため
 3. 幕府が物々交換を法律で禁止し、すべての取引を紙幣で行うよう強制したため
 4. 西欧諸国との貿易が始まり、銀を中心とした国際的な決済システムが導入されたため
- 問8 東大寺南大門の金剛力士像に見られる、写実的で躍動感あふれる彫刻様式が鎌倉時代に大きく発展した歴史的背景として、最も適切な説明を選んでください。 (2026年 富山公立入試 類似)
1. 新興の武士の気風に合った、素朴で力強い精神性が好まれたため
 2. 貴族の間で流行した、優美で洗練された国風文化の影響を強く受けたため
 3. 宋との貿易を通じて、禅宗とともに極彩色の華麗な装飾技術が導入されたため
 4. 鉄砲の伝来に伴い、外敵を威圧するために巨大な偶像が各地で必要とされたため
- 問9 日本の歴史の変遷をまとめた略年表において、鎌倉時代と室町時代を一つの大きな枠で囲み、時代区分を示す名称を記入する場合、最も適切なものはどれか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
1. 大和政権による統治が行われた「古代」
 2. 武士が実権を握り社会構造が変化した「中世」
 3. 全国統一が果たされ幕藩体制が整った「近世」
 4. 開国を経て近代化が進められた「近代」
- 問10 鎌倉幕府が発令した「永仁の徳政令」が、その後の社会に与えた影響について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2025年 茨城公立入試 類似)
1. 貸し借りの契約が無効になると恐れられた金貸したちが、武士への融資を拒むようになり、かえって武士の生活が混乱した。
 2. 農民の不満が解消されて大規模な一揆が収まり、幕府による地方支配がこれまで以上に安定した。
 3. 全国の港で貿易が活発になり、宋銭に代わって幕府が新しく発行した独自の貨幣が広く流通するようになった。
 4. 御家人の地位が飛躍的に向上し、北条氏による執権政治が終わりを迎え、将軍が直接政治を行う体制が復活した。
- 問11 鎌倉時代、源平の争いで焼失した東大寺南大門が再建される際、その建築には当時の中国から伝わった新しい様式が取り入れられた。この建築様式が伝わった中国の王朝として正しいものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 隋
 2. 唐
 3. 宋
 4. 元
- 問12 13世紀後半、元（モンゴル帝国）の侵攻という国難に直面した際、北条時宗が就いていた役職は何ですか。当時の資料では、将軍の補佐役でありながら、御家人を指揮して防衛にあたった幕府の最高責任者として記されています。 (2020年 愛媛公立入試 類似)
1. 将軍
 2. 執権
 3. 六波羅探題
 4. 公文所別当
- 問13 鎌倉時代後期、元寇の負担や分割相続などにより生活が苦しくなった御家人を救済するため、幕府が借金を帳消しにし、手放した土地を無償で取り戻させるために出した法令は何か。 (2022年 青森県公立入試 類似)
1. 徳政令（永仁の徳政令）
 2. 御成敗式目
 3. 武家諸法度
 4. 公事方御定書

答え合わせ・解説

問1	答え 1 琵琶法師と呼ばれる僧侶たちが、琵琶の音色に合わせて物語を口承で伝えたため。	平家物語は、もともと読まれるための本としてだけでなく、聴くための「語り物」としての性格を強く持っていました。琵琶法師が日本各地を巡り、劇的な音楽とともに語り聞かせたことで、当時の識字率に関わらず多くの人々がその内容を知ることができました。このような口承文化は、武士の価値観や仏教的な思想が社会全体へ広まる大きな要因となりました。
問2	答え 1 日本の商人が中国の宋と貿易を行ったことにより、国内に大量に持ち込まれた。	平安時代末期に平清盛が日宋貿易を推進したことなどをきっかけに、中国の宋で鑄造された銅銭（宋銭）が日本に大量に流入しました。当時の日本国内では貨幣の鑄造が衰退していたため、これらの輸入された宋銭が、年貢の代金納や市場での取引といった国内の経済活動を支える主要な通貨として広く流通することとなりました。
問3	答え 1 ローマ教皇	聖地エルサレムがイスラム教勢力のセルジューク朝に占領されたことを受け、1095年のクレルモン公会議においてローマ教皇がキリスト教諸国の騎士と貴族に遠征を呼びかけました。この軍隊は「十字軍」と呼ばれ、西ヨーロッパの社会構造やその後の歴史に多大な影響を与えることとなりました。
問4	答え 1 座禅によって自力で悟りを目指す教義が武士に好まれ、禅宗が政治権力と深く結びついてきたため。	足利義満の時代の文化は、公家文化と武家文化が融合した北山文化と呼ばれます。金閣はその象徴であり、貴族風の寝殿造と武士に好まれた禅宗様（仏殿造）が一体となっています。義満が禅宗の様式を重要視したのは、単なる個人の信仰だけでなく、幕府が禅宗寺院を管理・保護することで、政治的な権威と高い教養を背景とした文化的な統治力を示す目的もありました。
問5	答え 1 六波羅探題：朝廷を監視し、西国の裁判や警備を行う	承久の乱によって朝廷に対して優位に立った鎌倉幕府は、再び朝廷が反乱を起こさないよう監視を強める必要がありました。そこで、それまでの京都守護を廃止して新たに六波羅探題を設置し、朝廷の監視に加えて、西日本の御家人の統制や裁判、警備を担わせることで、全国的な支配を確実なものにしました。
問6	答え 1 御家人が以前から持っていた領地の支配を認めたり、手柄を立てた者に新しい領地を与えたりすること	鎌倉幕府の主従関係は、将軍からの「御恩」と、御家人からの「奉公」という互恵的な関係で成り立っていました。将軍が行う御恩には、御家人が先祖伝来の土地を所有することを認める「本領安堵（ほんりょうあんど）」と、軍功を挙げた者に新しい土地を与える「新恩給与（しんおんきゅうよ）」の2つの側面があります。これに対し、御家人が軍役や番役（警護）を果たすことは「奉公」と呼ばれます。
問7	答え 1 中国の宋から大量の銅銭が輸入され、国内の通貨として広く流通したため	当時の日本では、政府による貨幣の鑄造が途絶えていましたが、日宋貿易を通じて宋から大量の銅銭が流入したことで、再び貨幣が社会に浸透しました。この潤沢な貨幣供給により、土地の売買といった重要な経済活動においても、重くてかさばる米や布に代わって、持ち運びや計算が容易な銅銭が主要な決済手段として選ばれるようになりました。
問8	答え 1 新興の武士の気風に合った、素朴で力強い精神性が好まれたため	鎌倉文化は、政治の実権を握った武士の生活態度や精神を反映しています。貴族的な優雅さよりも、現実的で力強いものが好まれたため、金剛力士像のような写実的でたくましい彫刻が制作されました。これは、当時の武士の気風が反映された結果と考えられています。
問9	答え 2 武士が実権を握り社会構造が変化した「中世」	鎌倉時代と室町時代は、いずれも武士が幕府を開いて政治を行った時期であり、歴史学上では「中世」として一括りにされる。古代の公家社会から、近世の強力な中央集権的封建制へと移行する過程の時代であり、守護や地頭が地方で実力をつけるなど、独自の社会秩序が形成された。
問10	答え 1 貸し借りの契約が無効になると恐れた金貸したちが、武士への融資を拒むようになり、かえって武士の生活が混乱した。	徳政令によって借金が帳消しにされたことは、金を貸していた「借上（かしあげ）」などの業者にとっては大きな損失となりました。その結果、業者は再び徳政令が出されることを警戒して御家人への融資を拒むようになり、現金が必要な御家人は資金を借りられなくなってさらに窮乏しました。このように、法令は一時的な救済にはなりませんが、経済の仕組みを混乱させ、幕府に対する武士たちの信頼を失わせる原因の一つとなりました。
問11	答え 3 宋	鎌倉時代初期、重源を中心に行われた東大寺の再建事業では、当時日宋貿易などを通じて交流があった中国の宋（南宋）から伝わった、大仏様（天竺様）と呼ばれる雄大で力強い建築様式が採用された。選択肢にある元は、鎌倉時代中期以降に日本へ襲来（元寇）した王朝であり、東大寺再建の時期とは異なる。
問12	答え 2 執権	北条時宗は鎌倉幕府の第8代執権として、元寇の指揮を執りました。鎌倉時代後半には、将軍は名目上の存在となり、北条氏が就く執権が政治の実権を完全に掌握していました。六波羅探題は京都の監視や西国の統括を行う出先機関の役職であり、幕府全体の最高役職ではありません。
問13	答え 1 徳政令（永仁の徳政令）	鎌倉時代後期、御家人は元寇の防衛費用や分割相続による所領の細分化で困窮していました。幕府はこれに対し、質入れや売却した土地を無償で取り戻させる徳政令（永仁の徳政令）を発布して救済を図りました。なお、御成敗式目には北条泰時が制定した裁判の基準、武家諸法度は江戸幕府が大名を統制するための法令です。